

# 憲 法

3題のうち2題を選択して解答してください。

解答用紙の冒頭の「第○題解答」欄に問題番号を記入してください。

1 外国人の日本への入国・在留の権利について、以下の(1)および(2)に答えなさい。

- (1) 憲法上、外国人の日本への入国・在留の権利は保障されているか。当該権利が保障されているかいないかについて、その理由とともに説明しなさい。
- (2) フランス国籍の男性Aは、日本人男性のBとフランスにおいて適法に同性婚をし、フランスの公的機関から婚姻証明書を発行してもらい、フランスでは二人で同居生活をしている。Bが日本に帰国することになり、AはBと同行して日本でフランスにおいてと同じように同居生活を送ろうと考え、日本への入国・在留資格の申請を行ったが、同性婚は日本の法令上認められておらず、AについてはBの「配偶者」との資格での「定住者」とする在留資格は認められないとの不許可処分を受けた。この不許可処分をめぐる憲法上の問題について論じなさい。

2 信教の自由について、以下の(1)および(2)に答えなさい。

- (1) 憲法が保障する信教の自由とはどのような内容の保障を含むかについて、その保障内容を説明しなさい。
- (2) Aは、敬虔なクリスチャンであり、常にキリスト教の大きな十字架のネックレスを外から見えるように衣服の上につけていた。そして、Aは法科大学院を修了して司法修習生となり、その後、裁判官として任官したが、法廷においても常に十字架のネックレスが見えるようにつけていたところ、訴訟の当事者で熱心な神道信者から、裁判官が十字架のネックレスを当事者に見えるようにつけて審理に出廷することは国家の宗教的中立性に反するとの異議を提起され、裁判長Bは、Aに対して十字架のネックレスを外すよう命じた。この裁判長BのAに対する命令に含まれる憲法上の問題について論じなさい。

3 衆議院の解散権について、以下の(1)および(2)に答えなさい。

- (1) 日本国憲法の下で「衆議院の解散は首相の専権事項である」と言われることがあるが、その憲法上の根拠を説明しなさい。
- (2) 「ねじれ国会」を防ぐという理由で、衆議院議員選挙と参議院議員選挙の投票日が同じ日になるように衆議院を解散することは、憲法上どのように評価されるかについて論じなさい。

		月	
衆議院	参議院	衆議院	参議院
解散	解散	解散	解散
選挙	選挙	選挙	選挙

衆議院の解散権は首相の専権事項である。これは憲法第70条第1項に規定されている。参議院の解散権は衆議院の解散権に比べて制限されている。これは憲法第70条第2項に規定されている。

「ねじれ国会」を防ぐという理由で、衆議院議員選挙と参議院議員選挙の投票日が同じ日になるように衆議院を解散することは、憲法上どのように評価されるかについて論じなさい。